

## DDoS対策は車のエアバッグのようなもの (DDoS Protection is Like Airbags in Your Car)

By Radware -April 28, 2020

※この資料は、2020年4月28日にRadwareが投稿したブログ (<https://blog.radware.com/security/ddos/2020/04/ddos-protection-is-like-airbags-in-your-car/>)を元に日本ラドウェア株式会社 取締役 カントリーマネージャー 安藤 嘉教様が日本語に翻訳、再構成したものです。  
同社ご承諾のもと、株式会社テリロジーで掲載させていただいております。

数ヶ月前、私の友人が重大な交通事故に巻き込まれました。対向車のトラックが車線を逸脱し、彼女の車の全長を横殴りにしました。幸いなことに、車のエアバッグとシートベルトが重度の身体的被害から彼女を守ってくれたので、数週間後（しかも新車で...）、彼女は再び元気になっていました。

数週間前、ある顧客との話し合いの中で、この話を思い出しました。彼らは長い間攻撃を受けていなかったため、まだDDoS対策が必要なのかどうか疑問に思い始めていました。

しかし、重大な事故に巻き込まれたことがないからといって、車のエアバッグを取り外すことがないのと同じように、しばらくの間に大きな攻撃を受けていないからといって、サイバー防御を手控えるべきではありません。

### 確率は低いが大リスクは大きい

ラドウェアの「2019-2020年グローバルアプリケーションおよびネットワークセキュリティレポート」によると、33%の組織が前年にDDoS攻撃を受けたと報告しています。

これは確かに脅威的な数字ですが、逆の見方をすれば、過去12ヶ月間に3分の2の企業はDDoS攻撃

を経験していないこととなります。

統計を遡ってみると、過去2年間で約45%の組織が攻撃を経験しておらず、過去3年間で30%の組織が攻撃を経験しておらず、過去4年間で20%の組織が攻撃を経験していないこととなります。そして、それをさらに引き延ばしてみると、約8つの組織に1つの組織が過去5年間に攻撃を受けていないこととなります。

このことから、多くの組織は、非常に賢明にも、なぜまだ専用の DDoS 防御を導入するための手間と費用をかけなければならないのかと疑問に思うようになりました。

しかし、問題は、交通事故のように、DDoS 攻撃は頻繁には起こらないかもしれませんが、一度起こると、その被害は甚大なものになるということです、。

## 収入はWebサイトの稼働率に依存する

最終的には、ほとんどの組織の収益は、顧客が自社のサービスを利用できるかどうかにかかっています。

ガートナー社の調査によると、ITネットワークのダウンタイムにかかる平均コストは1分あたり5,600ドル、平均すると1回当たり30万ドル近くになります。この数字は、組織の規模、影響を受ける資産の数、停止の深刻度によって異なるかもしれませんが、停止の結果として発生する可能性のある非常に現実的な損害を示しています。

顧客がオンラインでサービスを利用することが増えているため、組織のウェブサイトとネットワークはミッションクリティカルな資産であり、ダウンタイムが発生すると大きな損失につながります。

DDoS攻撃の結果として生じる損害は、直接的なものと間接的なものがあります。

- 収益の直接的な損失 - ウェブサイトやアプリケーションが定期的に直接収益を上げている場合、可用性の損失は収益の直接的、即時的な損失を引き起こします。例えば、ウェブサイトが1日に100万ドルの収益を上げている場合、ダウンタイムの1時間ごとに平均して4万ドル以上の損害が発生します。
- 生産性の損失 - 電子メール、スケジューリング、ストレージ、CRM、データベースなどのオンラインサービスに依存している組織では、これらのサービスが利用できなくなると、生産性の損失や作業時間の損失に直結します。

- SLA 義務 - サービスの約束に縛られたアプリケーションやサービスでは、ダウンタイムが発生すると SLA の違反につながる可能性があり、その結果、失われたサービスの返金やサービスクレジットの付与、さらには訴訟にまで発展する可能性があります。
- ブランドへのダメージ - 接続性がますます高まっている世界では、利用可能であることは企業のブランドやアイデンティティとの結びつきが強くなっています。そのため、サイバー攻撃によって可用性が失われると、企業のブランドや評判に直接影響を与える可能性があります。実際、ラドウェアの2018年アプリケーションセキュリティレポートによると、43%の企業がサイバー攻撃の結果としてレピュテーションの損失を経験していることがわかりました。
- 顧客の損失 - DDoS攻撃が成功した場合の最大の潜在的損害の1つは、顧客の損失です。これには、直接的な損失（サイバー攻撃の結果、顧客からの離脱を選択した顧客）と間接的な損失（顧客と連絡が取れなくなり、ビジネスチャンスを失った潜在的な顧客）のどちらかが考えられます。いずれにしても、これは重要なダメージの源となります。

## あなたの車のエアバッグを外しますか？

人生の多くの危険がそうであるように、DDoS からの保護にもリスクと確率のバランスが必要です。私たちのほとんどは、重大な自動車事故に巻き込まれたり、家が全焼したりしたことはありません。それでも、車にエアバッグを取り付けたり、家の保険に加入したりしています。

これは、このような事故は滅多に起こらないが、その被害は壊滅的で広範囲に及ぶため、必要な時に利用できるように、「平時」の費用を負担してエアバッグや保険を購入しようとするからである。

同じ論理がDDoS対策にも当てはまります。絶え間なく攻撃を受ける組織もあれば、まれに標的にされる組織もあります。しかし、脅威が存在しないわけではありません。このような攻撃が発生した場合、無防備であることのリスクとコスト、あるいは不十分な保護を実施していることのリスクとコストは、DDoS 防御が必要ないと思われる場合でもDDoS 防御を維持していくためのコストを、はるかに上回ります。

先ほどの例に戻りますが、ほとんどの大人が深刻な自動車事故に巻き込まれたことがないにもかかわらず、自動車の安全性は新車を購入する際の第一の考慮事項であることが研究で明らかになっています。これは、万が一重大な事故が起きた場合、ドライバーの命がかかっているからです。

同様に、サービスの可用性は、多くの組織が顧客にサービスを提供し、収益を上げるための生命線となっているのです。

セキュリティの購入を決定する際の第一の考慮事項を今一度見直して見ましょう。

## 出典

DDoS Protection is Like Airbags in Your Car

By Radware -April 28, 2020

<https://blog.radware.com/security/ddos/2020/04/ddos-protection-is-like-airbags-in-your-car/>

DDoS対策は車のエアバッグのようなもの(DDoS Protection is Like Airbags in Your Car)

By Yoshinori Ando Radware - Country Manager, Japan

[https://www.linkedin.com/pulse/ddos対策は車のエアバッグのようなものddos-protection-like-airbags-your-yoshinori-ando?trk=portfolio\\_article-card\\_title](https://www.linkedin.com/pulse/ddos対策は車のエアバッグのようなものddos-protection-like-airbags-your-yoshinori-ando?trk=portfolio_article-card_title)

## お問い合わせ窓口

株式会社テリロジー Radware営業部 担当 宛

製品に関するお問い合わせは[当社のお問い合わせフォーム](#)からお寄せください